

あつぎ郷土博物館 触察展示 開催要領

1 名称

—めざせ「みんなが楽しい博物館」— 触って 感じる あつぎ展

2 趣旨

従来、博物館では展示資料に触ることは禁止され、静かに見学することが求められてきました。しかし、本展示では、直接対象物に触ることで、資料等が持つ世界に思いをはせ、考えを深め、自らとのつながりを感じ、知的な喜びを見出すことを目的とした展示を実施いたします。

また、本展示は、年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめる展示を目指す博物館のインクルーシブ化の一環として企画するものです。

3 展示構成

各コーナーの解説については、点訳も併記する。

- (1) 導入Ⅰ：「触察」ことはじめ —触り方レッスン—
- (2) 導入Ⅱ：「触察」への第一歩 —「触る文字」—
- (3) 考古：さわって感じる縄文・弥生の暮らし（仮）
- (4) 考古：同上
- (5) 歴史：さわって感じる江戸期の暮らし（仮）
- (6) 民俗：さわって感じる昭和の暮らし（仮）
- (7) 民俗：同上
- (8) 触れないものに触る：3D資料に触ってみよう

4 会期 令和7年3月末日から一年間

5 会場 あつぎ郷土博物館 基本展示室

6 その他

展示構成中「触れないものに触る：3D資料に触ってみよう」の展示については、神奈川工科大学地域連携・貢献センターの協力により実施するものです。会期中に神奈川工科大学の学生の研究成果により展示資料を含め内容の変更を想定しています。

- 7 協力 国立民族学博物館 広瀬浩二郎、東海大学 篠原 聡
神奈川工科大学 小川 喜道 厚木市点訳赤十字奉仕団
厚木市視覚障害者協会